４歳児クラス ＜９月 ゴッホ「ひまわり」＞



やさしいK-ART

テーマ《ゴッホ「ひまわり」ワーク》

ゴッホのひまわりの模写をします。細部までよく観てゴッホの筆使いを表現しましょう。

＜テーマを決める＞

夏の花というと何？みんなも見たかな？いろいろなところで大きなひまわりを見かけるよね。ひまわりって、みんな同じ黄色い花なのかな？よく見てみると、大きな花、小さな花、黄色やオレンジっぽい花、元気に上を向いている花、少し下を向いている花もあるよ。
ゴッホという画家も、ひまわりをよく見て、たくさんの《ひまわり》を描いたんだって。
今回は「ひまわりって、どんな色や形をしているんだろう？」ゴッホの《ひまわり》をよく観察しながら、自分たちのひまわりを作ってみよう。

＜問いを考える＞

「ひまわりって何色かな？」
→「黄色！」
→「本当に全部黄色かな？よーく見てみよう」
と、掘り下げる質問をしていくことで、観察を深めていきましょう。
そこから「真ん中は何色？」「花びらは全部同じ形？」「どのひまわりが一番大きい？」「上を向いている花と下を向いている花があるね。どうしてだと思う？」「ゴッホは黄色を一色だけ使ったのかな？」など、見る→気づく→もう一度見る”という問いかけをしていきましょう。

1. フレーム
2. パーツ２種類
3. ひまわりプリント
4. キットパス
5. ベビーパウダー
6. スティック糊



＜環境をデザインする＞

ひまわりの大きさや向き、花びらの形などをじっくり観察し、それぞれの違いに気づけるよう、複数のひまわりのパーツを準備する。
複雑な花の形を一から描くのではなく、パーツを用いることで、4歳児でも色や質感の違いを観察し表現することに集中できるようにした。
キットパスは黄色だけでなく、オレンジや茶色、緑などを重ね、ベビーパウダーで色どめをしながらぼかすことで、同じ「ひまわり」の中にもさまざまな色があることを発見できるようにする。
完成後は、みんなで作品を見比べて、「同じひまわりを作ったのに、みんな違うね」という気づきにつなげていく。

４歳児クラス＜９月 ゴッホ「ひまわり」＞実施報告












9/15【北町アンジェリカ保育園】年中：14名《ゴッホ「ひまわり」》

はじまる前から「今日ひまわり描くんだよね？」「今日はひまわり描くって知ってるよ！」と、何人も声をかけてくれました。見本を見て「やっぱりひまわりだよね！」「見たことある～！」と嬉しそう。ひまわりの作者はゴッホだと伝えると「ゴッホさん！」と口に出していました。
「花びらがあるひまわりと、花びらがないひまわりがあるね。ひまわりの真ん中には何があるんだろう？」と問うと「種！」と元気よく答えてくれました。「本物のひまわり見たことあるからわかる！」「おばぁちゃんの家にある！」との声も。
制作では、緑系のキットパスを使い花瓶を塗りました。どこを塗っていいかわからない子は指差し確認をする事で理解し、塗ることができました。また、黄緑の上に黄色が塗ってあることに気付き、上から重ねて塗りました。花びらを塗る際には「外側に向かって塗るよ」と説明したことをしっかり聞き、外に向かって花びらを表現することができました。タネの部分は複数の色を使って点を打って表現しました。少し緑色がある事に気付いた子も。粘り強く最後まで手を動かして完成。
フレームに入った作品を見た時に歓声が上がり、嬉しそう。たくさんの笑顔が見れました。

5歳児クラス ＜9月 モネ「黄昏」＞



やさしい K-ART

テーマ《モネ「黄昏」ワーク》

大運河、聖堂、金色の空。この３つだけという大胆な構図で運河に浮かぶ都市ヴェネツィアを表現しましょう！

＜テーマを決める＞

空の色って何色だろう？「空は何色？」って聞かれたら、「青！」って答える人が多いよね。でも、朝の空、昼の空、夕方の空を見てみると、本当にずっと同じ色かな？夕方になると、青かった空が黄色やオレンジ、赤や紫に変わっていくことがあるよ。しかも、その色は一つずつ分かれているのではなく、少しずつ混ざり合っているみたい。
モネという画家は、そんな一瞬一瞬で変わっていく光や空の色をよく観察して絵にしました。
「空にはいくつの色があるんだろう？」
「色と色が重なったら、どんな色になるんだろう？」
モネの《黄昏》を見ながら、変わっていく空の色を探して、自分たちでも表現してみよう。

＜問いを考える＞

8月のSKYは「空にはどんな空？どんな雲がある？」という空の観察**でしたが、今回はモネの作品を通じてさらに一段掘り下げて、**「光によって色はどう変わる？」とします。
「空って本当に青だけかな？」「夕方の空を見たことある？何色だった？」
「青から夕焼けになる途中は何色だろう？」「モネの空には何色あるか探してみよう！」
「青と黄色が重なっているところは何色？」「夕日の色は、水にも映っているかな？」
「同じ景色でも朝・昼・夕方で色は変わると思う？」
「今日の夕方、本物の空も見てみよう。何色見つけられるかな？」

1．フレーム
2．キットパス
3．ベビーパウダー
4．スティック糊
5．黒画用紙（目安線入り）
6．海パーツ
7．見本空パーツ



＜環境をデザインする＞

夕暮れの空には一つではなく、青・緑・黄色・オレンジ・赤など、さまざまな色が重なっていることに気づけるよう、モネの《黄昏》と空の見本を用意する。
黒画用紙の上にキットパスでたくさんの色を「クルクル」と重ねることで、「色と色が重なるとどうなる？」を実際に試しながら、夕暮れの空の変化を表現できるようにする。
さらにベビーパウダーで磨くことで、重ねた色がやわらかくなじんでいく変化も体験する。海や建物はあらかじめパーツとして用意し、細かな形を描くことではなく、「光」「色」「色の重なり」を観察し、表現することに集中できる環境をつくる。

5歳児クラス ＜９月 モネ「黄昏」＞実施報告












9/15【北町アンジェリカ保育園】年長：14名　《モネ「黄昏」》

8月に実施した光の透かし絵「SKY」の話をした後、モネの黄昏を見せると「わぁ～！」と歓声があがりました。「この空はいつの空かわかるかな？朝かな？夜かな？」と問いかけると「これは夕方！」と絵の雰囲気をしっかり感じ取っていました。
制作では、上から順に空をクルクルと塗ります。今までキットパスを指で伸ばすことが多かったのですが、今回は指で伸ばさず、キットパスを上から重ねて塗ることでグラデーションを表現します。説明をしっかりと聞き、見本もよく見てすごく集中してクルクルと色を重ねていました。「くるくるくるくる」と言いながら塗っている子も。たまに遠くから見たりして、塗りたい色を追加して塗ったり、ものすごく前向きに取り組んでいました。完成してフレームに入れた自分の作品を見て、すごく嬉しそうでした。
最後にみんなの作品を並べてみると「自分の作品どれかわかるよ！」「みんなのキレイだねぇ」という声も聞こえてきました。